

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
入間市	入間市	平成 27～令和元年度	平成 27～令和元年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t %
	生活系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人 %
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t %
再生利用量	直接資源化量	t	t	t %
	総資源化量	t	t	t %
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t %

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成26年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和2年度) B	実績 /目標
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	11,530	14,670	81.4%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	7.7%	10.2%	16.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口			%

※目標未達成の指標のみを記載。

## 2 目標が達成できなかった要因

市広報誌や市公式ホームページでの周知に加え、浄化槽清掃業者へのチラシ配布の協力依頼、対象地域への回覧を行い、合併処理浄化槽への転換を促したが、工事費の自己負担額が高額、合併処理浄化槽へ転換する動機が希薄などの要因があり転換が進まず、補助予定基数を下回る年度もあった。

## 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和7年度まで

合併処理浄化槽への転換を阻害している要因のひとつは、工事費の自己負担が高額であることと考え、令和2年度より補助金額を約10万円増額し、転換の促進を図っている。今後も浄化槽設置整備事業の継続実施などにより、引き続き合併処理浄化槽への転換を進めていく。

また、処理率のさらなる向上を目指し、生活排水処理施設の効果的な整備手法についても検証を行っていく。

(都道府県知事の所見)

埼玉県生活排水処理施設整備構想の実現に向け、上記方策により合併処理浄化槽への転換を推進し、未処理人口の解消をさらに促進していただきたい。